

形式：対面セミナー

補足： 配信はありません。会場にお越しの上、ご受講ください（会場が未定の場合は、お手数ですが、Web ページでご確認ください）

ジャンル：食品

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 9 0 9 n 1

大手食品メーカーで国内外での品質保証業務や教育に携わった講師が、食品メーカーに求められる品質保証業務を総ざらいした上で、有効なシステムの運用、人材の育成法、全社的な品質保証体制の構築までを解説します。

## 国内・海外の食品製造における品質保証体制構築のポイント

講師：東京海洋大学学術研究院 食品生産科学部門 教授 博士（農学）松本 隆志 先生

1989年3月 京都大学農学部食品工学科卒業（2000年12月 学位取得（農学博士））後、1989年4月（株）中野酢店（現株）mizkan）に入社し、研究所、生産技術部門、海外事業部門（開発、品質保証）に従事した後、2002年10月 味の素（株）入社。以来、食品研究所 食品分析・評価グループ グループ長、2006年7月 本社食品統括部を経て、品質保証部 食品事業担当部長、2012年7月 川崎工場、品質保証グループ長・部長、2015年7月 タイ味の素社出向、品質保証部長を歴任し、2018年10月1日に現職着任。

- 日程 2025年9月9日（火） 13:00～17:15 個別質疑・名刺交換の時間を設けます
- 会場 東京 ※都内中心部で調整中。詳細は Web ページをご覧ください
- 受講料 **36,300 円**（税込／テキスト付） ※8/9（土）までにお申込の場合、**32,670 円（1割引）**となります

### <プログラム>

#### 1. 食品製造者における品質保証業務の例 ～品質保証部門ではどのような仕事をするのか～

- ・食品安全と品質の関係
- ・品質保証部門における業務の例

概要： 食品製造者において、品質保証の業務の範囲は HACCP、QMS・FSMS の運用だけでなく、製品導入・改訂における食品関連法規の遵法性の確認、基準やルールの作成、リスクマネジメント、教育等、多岐にわたります。まず品質保証の全体像と基本的な業務について紹介します。

#### 2. HACCP・FSMS 等システムが機能しない時のヒント ～システムの有効な運用の事例～

- ・様々なトラブル事例から考察する有効なシステム
- ・ヒューマンエラーではなくシステムエラーの事例
- ・システム導入は品質保証体制構築の終わりではなく始まり

概要： 2018年6月食品衛生法改正によって HACCP が制度化され、HACCP やそれを含む FSMS、GFSI 承認認証規格が広まっています。これらのシステムを導入するだけで効果が得られるものではなく、継続的に改善していかなければいけません。2つ目として、HACCP 等のシステムを導入する意義と有効に運用する方法を説明します。

#### 3. 品質保証業務を遂行するための人材の育成方法 ～国内・海外の事例～

- ・品質保証業務に従事する人材の要件
- ・国内における有効な教育の事例
- ・海外法人における現地人材の育成 —タイにおける現地の品質保証部長育成の事例
- ・世界各地でのスクール開催による現地の人材育成とモチベーション向上

概要： 近年、食品関連法規の施行や改正、消費者の要求の高まり等、食を取り巻く環境が変化しています。品質保証部門はその変化に対応し、人材を育成しながら業務を行っています。3つ目として、品質保証の業務を担う人材の要件とその育成方法について、国内だけでなく、海外の事例を交えて説明します。

#### 4. 食品製造者における品質保証体制の構築 ～国内・海外の事例～

- ・国内の食品製造工場における体制構築の事例
- ・海外法人における品質保証体制の構築 —タイにおける体制の立て直しの事例
- ・HACCP・FSMS 等のシステムを活用した品質保証体制構築

概要： HACCP 等のシステムの運用や、人材の育成を含め、品質保証の業務を遂行するためには、体制を構築する必要があります。自身の経験を交えて、国内外における品質保証体制の構築をする際の考え方、プロセス等を説明します。

#### 【習得知識】

- ・食品製造者における品質保証に関わる基本的な業務
- ・HACCP や FSMS 等のシステムの有効な運用事例
- ・国内・海外の品質保証人材に必要な要件と育成方法の事例
- ・国内・海外で品質保証体制を構築する際の考え方・プロセス・問題解決の事例

#### 【講師のこぼれ】

本講演者は、食品企業の本社・工場・海外法人等において、管理職として品質保証に関わる教育を企画・実施し、また工場・海外法人の品質保証体制の構築に携わってきました。本講演では、食品企業で得た経験や知識に加え、大学の研究者として食品製造者の品質保証を研究した成果を紹介します。

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	2025/9/9	国内・海外の食品製造における品質保証体制構築のポイント		
<b>会社名※</b>				
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒			
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>	
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>	
			<b>役職</b>	
	<b>Email※</b>		@	
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>	
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>	
			<b>役職</b>	
	<b>Email※</b>		@	
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
<b>備考※</b>				

※【個人情報の取扱いについて】ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 <https://www.tech-d.jp/info/privacy>）。

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		